

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

令和04年10月05日

計画の名称	松戸市下水道整備計画（防災・安全）（重点計画）													
計画の期間	令和03年度 ～ 令和07年度（5年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	松戸市													
計画の目標	下水道施設の浸水対策や耐震化をすることで、安全で快適な都市環境を創出するとともに、老朽化した下水道施設を計画的かつ効率的に改築更新することで、安全で快適な下水道施設の利用環境を提供する。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		5,958	A	5,883	B	0	C	75	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	1.25	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3当初	R5末	R7末
1	内水浸水が発生している排水区上流域の浸水箇所解消に寄与する雨水幹線整備の割合を0%から100%に増加する。			
	長津川排水区雨水管整備率 整備済み雨水管延長（m）/整備対象の雨水管延長（m）×100	0%	76%	100%
2	総合地震対策に基づき、避難場所兼収容避難所等の流下路線において、地震時にも下水道の機能が確保される割合を87%から100%に増加する。			
	マンホール浮上防止対策整備率 対策済みマンホール数（箇所）/対策が必要なマンホール数（箇所）×100	87%	100%	100%
3	総合地震対策に基づき、避難場所兼収容避難場所でマンホールトイレの利用が可能な想定人数を77%から100%に増加する。			
	マンホールトイレ整備率 整備済みマンホールトイレ利用想定人数（人）/整備対象マンホールトイレ利用想定人数（人）×100	77%	100%	100%
4	ストックマネジメント計画に基づき、社会資本総合整備計画期間内に改築更新を実施した雨水管きよの割合を0%から100%に増加する。			
	老朽化雨水管きよの改築更新整備率 対策済み管きよ延長（m）/対策対象の管きよ延長（m）×100	0%	0%	100%
5	ストックマネジメント計画に基づき、社会資本総合整備計画期間内に78haの内水排除を担う雨水ポンプ場の改築更新を実施した割合を0%から100%に増加する。			
	老朽化雨水ポンプ場の改築更新整備率 対策済み施設数（施設）/対策対象の施設数（施設）×100	0%	0%	100%
6	下水道施設耐水化計画に基づき、対象下水道施設の耐水化整備を実施した割合を0%から100%に増加する。			
	下水道施設の耐水化整備率 対策済み施設数（施設）/対策対象施設数（施設）×100	0%	25%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	松戸市	直接	松戸市	管渠（ 雨水）	新設	長津川排水区 主要な管 きよの新設	φ 350～2, 600mm	松戸市	■	■	■	■	■	3, 980		－
		通常の下水道事業																	
	A07-002	下水道	一般	松戸市	直接	松戸市	管渠（ 汚水）	改築	江戸川左岸処理区 マン ホール浮上防止	202箇所	松戸市	■	■				210		策定済
		下水道総合地震対策事業																	
	A07-003	下水道	一般	松戸市	直接	松戸市	管渠（ 雨水）	改築	江戸川左岸処理区 マン ホール浮上防止	16箇所	松戸市	■	■				94		策定済
		下水道総合地震対策事業																	
	A07-004	下水道	一般	松戸市	直接	松戸市	管渠（ 汚水）	新設	江戸川左岸処理区 マン ホールトイレ整備	15施設	松戸市	■	■				275		策定済
		下水道総合地震対策事業																	
	A07-005	下水道	一般	松戸市	直接	松戸市	管渠（ 汚水）	新設	江戸川左岸処理区 マン ホールトイレ整備	流下管 φ 200mm	松戸市	■	■				175		策定済
		下水道総合地震対策事業																	
A07-006	下水道	一般	松戸市	直接	松戸市	管渠（ 雨水）	改築	江戸川左岸処理区 主要 な管きよの更新	改築更新	松戸市					■	121		策定済	
	下水道ストックマネジメント支援制度																		

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-007	下水道	一般	松戸市	直接	松戸市	管渠（ 雨水）	改築	手賀沼処理区 主要な管 きよの更新	改築更新	松戸市					■	13		策定済
		下水道ストックマネジメント支援制度																	
	A07-008	下水道	一般	松戸市	直接	松戸市	ポンプ 場	改築	江戸川左岸処理区 小山 ポンプ場の改築	改築更新	松戸市		■	■	■	■	800		策定済
		下水道ストックマネジメント支援制度																	
	A07-009	下水道	一般	松戸市	直接	松戸市	－	－	ストックマネジメント調 査・設計・計画更新	調査・設計・計画更新	松戸市	■	■	■	■	■	115		策定済
		下水道ストックマネジメント支援制度																	
	A07-010	下水道	一般	松戸市	直接	松戸市	ポンプ 場	－	下水道施設の耐水化	4施設	松戸市			■	■	■	100		策定済
		下水道施設の耐水化																	
											小計						5,883		
										合計						5,883			

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	C07-001	下水道	一般	松戸市	直接	松戸市	－	－	江戸川左岸処理区 マン ホールトイレ整備	マンホールトイレ用水の井戸 等の整備、マンホールトイレ 便器等の購入	松戸市	■	■				75		策定済
		基幹事業（マンホールトイレ整備）と一体的に整備することにより、災害時におけるトイレ機能を確保し、被害の最小化を図る。																	
		下水道総合地震対策事業																	
											小計						75		
											合計						75		

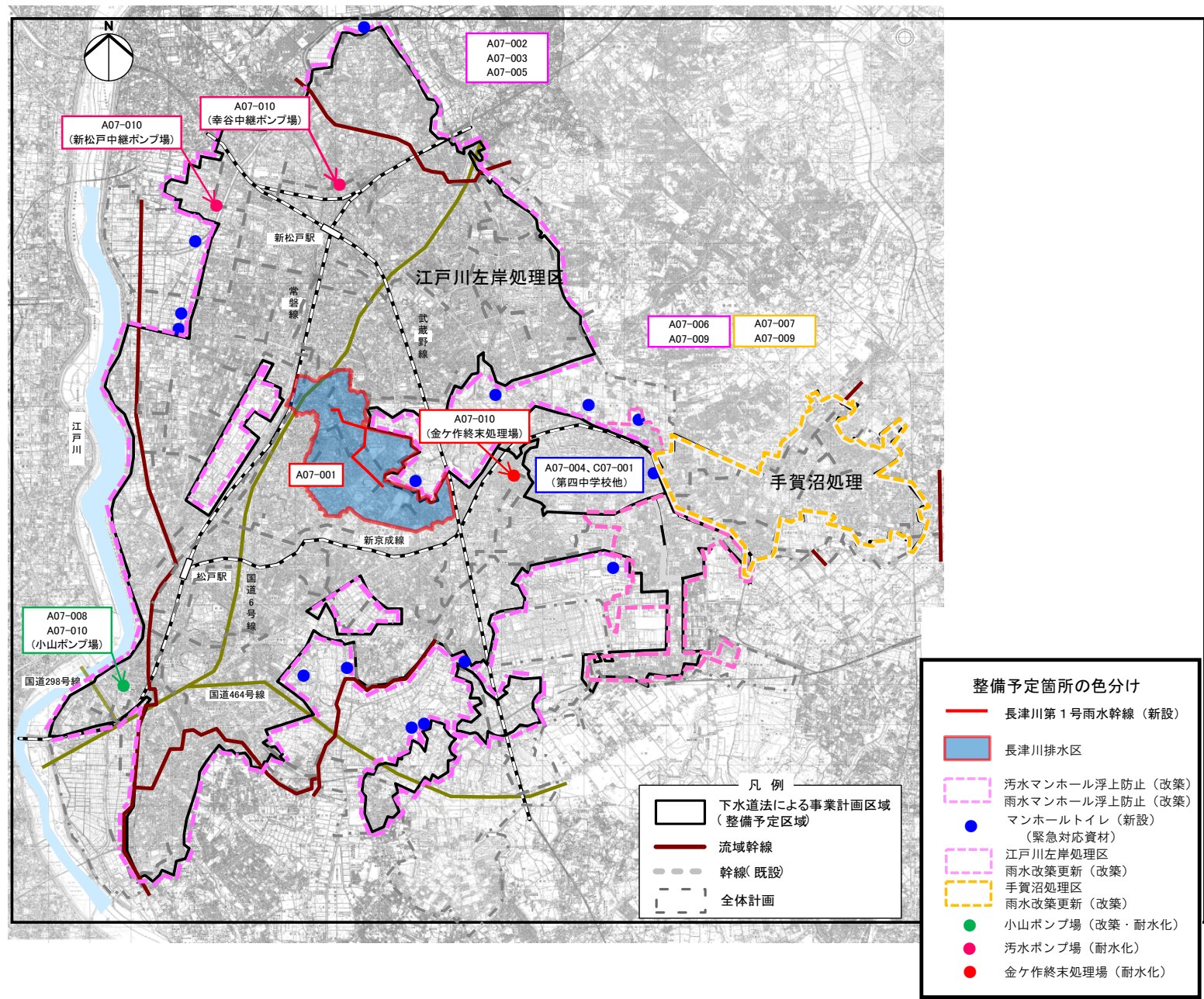
交付金の執行状況

(単位:百万円)

	R03	R04	R05	R06	R07
配分額 (a)	608	748	356	127	
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	608	748	356	127	
前年度からの繰越額 (d)	0	344	709	193	
支払済額 (e)	264	383	872	310	
翌年度繰越額 (f)	344	709	193	10	
うち未契約繰越額 (g)	90	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	15%	0%	0%	0%	
未契約繰越＋不用率が10%を超えている 場合その理由	令和3年度 第1次補正分	－	－	－	

※ 令和3年度以降の各年度の決算額を記載。

計画の名称	松戸市下水道整備計画（防災・安全）（重点計画）		
計画の期間	令和3年度～令和7年度（5年間）	交付対象	松戸市



# 事前評価チェックシート

計画の名称： 松戸市下水道整備計画（防災・安全）（重点計画）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
1) 上位計画等との整合性	○
I. 目標の妥当性	
東京湾流域別下水道整備総合計画、利根川流域別下水道整備総合計画、松戸市公共下水道全体計画、松戸市総合計画と整合を図っている。	
I. 目標の妥当性	
2) 地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の適合性）	○
I. 目標の妥当性	
関連する各河川及び湖沼の浄化計画等と整合を図っている。	
II. 計画の効果・効率性	
1) 整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
II. 計画の効果・効率性	
定量的指標の向上により、整備計画の目標が達成される。	
II. 計画の効果・効率性	
2) 定量的指標の明瞭性	○
II. 計画の効果・効率性	
計画の成果目標（定量的指標）とする数値が市民にとって分かりやすいものになっている。	
II. 計画の効果・効率性	
3) 目標と事業内容の整合性	○
II. 計画の効果・効率性	
事業実施により適切に計画の目標値が達成出来る。	
II. 計画の効果・効率性	
4) 事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	○
II. 計画の効果・効率性	
各効果促進事業により交付対象事業の事業効果が向上する。	
III. 計画の実現可能性	
1) 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性）	○
III. 計画の実現可能性	
事業執行にあたり地域住民等への説明会を行い、事業実施の確実性を確認している。	
III. 計画の実現可能性	
2) 地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）	○

[illegible]